

# ふれあい

## 2014年 夏季号 vol.55

2014年(平成26年)8月1日発行

日本医療機能評価機構認定病院 医療法人社団 浅ノ川 金沢脳神経外科病院 広報誌  
TEL : 076-246-5600 FAX : 076-246-3914 石川県野々市市郷町262-2  
http://www.nouge.net



### 病院理念

脳神経外科専門病院として私達は患者の皆様により高度の医療技術を提供し、公平で平等な患者中心の医療を行います。

### 基本方針

1. 患者の皆様のご権利と人間性を尊重した温かい医療の提供に努めます。
2. 地域の医療機関と連携を行い、患者の皆様が安心と満足の得られる医療の提供に努めます。
3. 脳神経外科専門病院として、地域の救急医療の提供に努めます。
4. 急性期から回復期リハビリ、慢性期の一貫した医療を提供します。
5. 患者の皆様に対して、適切な言葉と態度を心がけるよう努めます。
6. 患者の皆様のご意見、ご希望を医療に反映させるよう努めます。

### 患者の皆様のご権利

私達は患者の皆様のご権利を尊重し、信頼に基づいた医療を行うため、患者の皆様のご権利に関する宣言を掲げます。

1. 適切で最善の医療を公平に受ける権利
2. 検査や治療について真実を知り、十分な説明を受ける権利
3. 検査や治療を受ける権利と受けることを拒否する権利
4. プライバシーの秘密保持を得る権利
5. 病院や医師を自由に選択し、あるいは変更する権利

## 脳卒中の被害は、患者はもとより、家族や社会へ及ぶ



病院長  
佐藤 秀次

脳卒中は、人の命を奪うか、もしくは命と交換に大きな後遺障害を残します。一瞬にして、人生をひっくり返してしまう脳卒中。

皆さん、日頃の備えはいかがでしたか。「元氣一杯、快調な自分は無関係」と他人ごと。あるいは、「対岸の火事」と高を括弧はいていませんか。血圧が高くても、血糖が高くても、コレステロールが高くても、痛くも痒くもない。長い喫煙習慣があつても何事もなし。毎日の晩酌が楽しみで、飲み過ぎはしばしばだ。このような方を、脳卒中は狙つてきます。

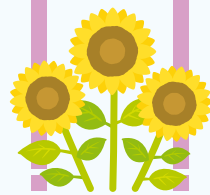
生活習慣病と呼ばれる高血圧、糖尿病、高コレステロール血症などや喫煙が、脳卒中の運び屋です。これらの運び屋を確実にブロックすることが脳卒中を近づけない唯一の方法です。

脳卒中には、脳出血、脳梗塞、

くも膜下出血などがあることはご存じの通りです。これらは脳を破壊する方法が違うだけで、脳にダメージを与えて残すことは同じです。脳が壊滅的なダメージを受けると死に直結します。運良く助かつても植物状態です。脳の部分的なダメージでは、言語障害や片麻痺、半身のしびれ、視野障害などが残ります。

脳卒中による、これらの障害は本人にとつて、まさに青天の霹靂です。始めは、これらの障害を受け入れることができません。気持ち焦り、心は鬱になります。揚々として未来に続いていたはずの人生の道は途切れ、突如として目の前に断崖絶壁が現れ、絶望に襲われます。生活はこれからどうなるのか。患者と家族の長い再起のための戦いが始まります。

私は脳神経外科医として長きに渡り、脳卒中がもたらす患者と家族の悲劇を目の当たりにしてきました。脳卒中は予防するしかない。これが私の結論です。そのためには、生活習慣病をきちんと管理し、喫煙をやめるしかありません。自分のために、そして家族と社会のため



### 織姫と彦星へ届け!みんなの願い!!

患者・職員満足向上委員会

年に一度、織姫と彦星が出会える七夕。様々な伝承の中で、願いを叶えるために笹を屋外に飾るという話があります。雨が降ったり、笹が屋内にあると、天からは短冊が見えず、願いが叶わないからなのだそうです。

当院では、願い事が叶うようにと天まで届く大きな笹を設置しました♪たくさんの願いが叶いますように(\*^\_^\*)



めに固い決意をもって脳卒中の予防に努めることが必要です。それでも万が一、「脳卒中では？」と疑われる症状に見舞われた時には、迷わず119番です。脳卒中の専門病院へと急いでください。時間が患者と家族の運命を決めるのです。

地域資源の紹介

# 医療と介護 の連携

地域医療福祉部  
地域医療連携課

脳卒中になられた方が、地域で安心して質の高い生活を送ることができるよう、野々市市と白山市の介護サービスを紹介しています。

今回紹介するのは、『通所介護』についてです。日帰りでデイサービスセンター等の施設に通い、食事や入浴等の日常生活上の支援と、生活機能向上の機能訓練や口腔機能向上サービス等を受けることができます。

※介護保険の申請については、お住まいの地域の市役所にご相談ください。

野々市市役所（介護長寿課）

076-2227-6066

白山市役所（長寿介護課）

076-274-9529



## 地域の事業所紹介

### 太陽のリゾート野々市



**（特色）** リハビリに特化したデイサービスです。リハビリマシンや平行棒での歩行訓練、レッドコードを用いた体操、言語聴覚士による指導など。

**（職員）** 介護職員8名、看護師2名、理学療法士2名、作業療法士2名、言語聴覚士1名

**（利用者）** 35名

**（エリア）** 白山市・野々市市から、金沢市西部や南部まで。遠方では白山市河内町からも。



### （介護福祉士より）

最近とてもうれしかったことが、食事の際にいつもスプーンを利用していた麻痺のある利用者さんが、4、5ヶ月前から練習を重ね、箸が使えるようになったことです。当施設利用中だけでなく、自宅でも練習していた努力家の利用者さんです。

本人の強い意思が、このような上達ぶりとなり、現在も維持することにつながっていると感じます。今後も利用者さんの意欲を大切にするため、私達は取り組みやすい環境を提供するとともに、やる気を引き出す雰囲気づくりに努めたいと思います。

### （仕事に対する想い）

常に利用者さんのためを想う介護福祉士でありたいと思います。介護はしてあげられるのではなく、私達がさせていたただいては、私達も利用者さんが中心であり、お手伝いさせていただいて喜んでもらえるのがうれしいです。

私達にとって利用者さんは家族です。そしてスタッフも皆家族です。介護とリハビリを通して、利用者さんを元気にし、笑顔を増やしたい。私達スタッフは、相手のことを先に知ろうとするのではなく、まずは自分のことを話して知ってもらおうことを大切にしています。そして一人で

も多くの利用者さんに自分のファンになっていただけるよう、常に笑顔で元気の輪をどんどん広げていきたいと思っています。



### 太陽のリゾート野々市

住所 石川県野々市市徳用町303

TEL 076-259-5030

月曜日～土曜日 8:30～17:30

### 地域医療連携課トピックス

- 5/10 看護師就職ガイダンスin金沢
- 5/18 耳寄りな講演会【山本副院長】
- 6/5 薬・薬連携講演会
- 6/7 看護職と看護学生のための就職情報交換会
- 6/25 平成26年度第1回救急症例検討会
- 7/8 耳寄りな講演会【高多作業療法士】
- 8/7 第5回加賀脳卒中地域連携協議会総会





その1 **日本の医療提供体制はこう変わる！**  
**「超高齢社会の到来」と「増え続ける医療費」**

事務部 経営企画課

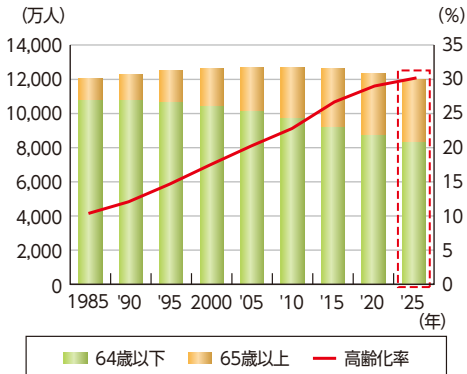
日本の総人口が減少していく中で、高齢者が増加することにより高齢化率は上昇を続けています。2013年に高齢化率は25.1%となり、4人に1人が65歳以上の高齢者という現状であり、さらに2025年に高齢化率は30%を超え、約3.3人に1人が65歳以上の高齢者となる社会が到来すると予測されています(図1参照)。

そしてこのように人口の高齢化が進むことに伴い、今後、医療費が増大していくことが見込まれています。特に団塊の世代と呼ばれる方々が75歳以上の後期高齢者となる2025年には、老人医療費が現在の倍近くになると予測されています(図2参照)。

保障制度の枠組みを維持しながら将来にわたって負担していくということは、国の政策や医療機関の努力だけでは解決できるような簡単な課題ではありません。国民1人1人がこのような社会背景を理解した上で、医療機関への受診のあり方を根本的に見直していくことも必要となつてくると思われれます。大病院への受診抑制、入院日数の短縮、自己負担額の増加など、すでに身近なところでも変革は始まっています。

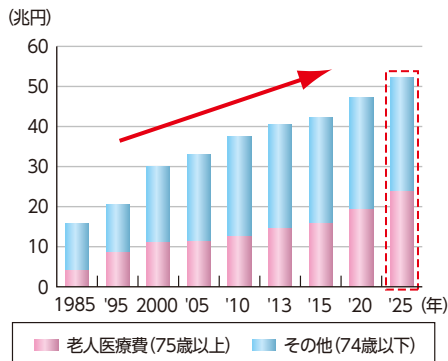
本シリーズでは、未曾有の超高齢社会に向けて、国はどのような対策を講じ、それにより今後の医療提供体制はどうなっていくのかということの説明をしたいと思います。これからの地域医療のあり方を、皆さんとともに考えていくための一助になれば幸いです。

図1：人口の推移と高齢化率



参考資料：総務省国勢調査および国立社会保障・人口問題研究所推計結果

図2：国民医療費の推移



参考資料：厚生労働白書、厚生労働省保険局「医療費等の将来見通し及び財務影響試算」

**わく・ワーク体験学習**

7月2～4日に「わく・ワーク体験学習」が行われました。中学2年生4名が、病院見学とお仕事体験にチャレンジしました。社会人としての基本的なマナーだけでなく、脳卒中について知る良い機会となりました。また患者さんの思いや働く職員の姿から、早期発見・早期受診の重要性を学んでいました。

《中学生より》脳卒中の症状の人を発見したらすぐに救急車を呼びます！



**早期臨床体験実習**

5月13～16日に医学部1年生6名が、「早期臨床体験実習」に臨みました。患者さんとのコミュニケーションや食事・入浴介助等を通じて、医療について理解を深めました。

《医大生より》寝たきりの患者さんの目の動きだけで理解する看護師や介護福祉士の姿に驚いた。／患者さんによっては声をかけてもすぐに返すことができない方もいて、辛抱強くゆっくりと待つことを知った。／患者さんから「頑張ってお医者さんになつてね」と声をかけてもらったことがうれしかった。

**ふれあい看護体験**

5月12日「看護の日」に、「ふれあい看護体験」が行われました。高校3年生5名が、看護ケアの見学と体験をしました。患者さんとのふれあいを通して、看護することや人の命について、理解と関心を高めました。

《高校生より》自分の知らないことや仕事の楽しさやつらさを知ることができてよかった。この機会が将来へつながるように頑張ります！



## クラブ活動紹介

### 7 輪道部

近年自転車は、手ごろな交通手段のアイテムとしてだけでなく健康、体力増進目的にスポーツとして全国に流通しています。当初は自転車好き数人が軽い気持ちで「瀬名高原まで走りに行こう」が始まりでした。目的地まで非常に辛い道のりでしたが、到着すると何とも言えない達成感と感動を得ることを知りました。そこで、私たちは自転車を通じて新たな職員間の輪を作り自己の健康・体力増進、精神向上を測るために2012年に「輪道部」を発足しま

した。男女問わず地道に募集を続けていますが、残念ながら未だ男子職員のみで構成されています。最初は近いところを走っていた部

員も、いつの間にか自主的に遠回りしたり勾配のきつい坂道を選んだり、福井県まで行ったりするようになり、今では自転車部というより自転車競技部に近い状態になりました。これからも怪我がないように安全に走りを楽しみ、体に磨きをかけていきたいと思います。



### TOPIC

## ハンドベルコンサート

6月14日に当院の多目的ホールで、北陸学院高校ハンドベルクワイアのみなさんによるハンドベルコンサートが行われました。土曜の午後ということもあり、患者さんとその家族も含め62名の参加がありました。曲目は、「創世記」、「アメージンググレイス」、「ふるさと」、「ふるさと（嵐バージョン）」、「エデルワイス」、「白鳥」、「となりのトトロ」の7曲でした。30分という短い時間でしたが、美しい音色に心が洗われるようでした。「ふるさと」ではあちこちから歌声が聞こえ、楽しいひとときを過ごすことができました。



患者・職員  
満足向上委員会

## 患者さんコーナー



七尾市 中村 隆子 様

数年前に夕食仕度をしていたら、足先から頭まで電気が流れる様なしびれがありました。でも、家の用事は出来るのでしていました。その内、年と共にだんだん足が痛くなり、腰も弱くなり、歩行も長く歩けず気になっていました。

最近二年の間に重い物は持てなくなっただけで、近所の人から「腰痛で良い先生がいるから、手術をすれば」と勧め

められて、通院することを決めたのです。病名は腰椎変性すべり症、腰部脊柱管狭窄症でした。手術を勧められて不安でしたが、「MD法で不安はないよ」と言われ、安心して手術を受けました。今では前より良くなり、以前と同様に動いています。

この様にしておられるのも、院長先生やスタッフの皆様のおかげだと感謝しております。ありがとうございます。

最近私に「どこで手術を受けたの？」と聞かれます。「教えて」と言われ、「金沢脳神経外科病院」と伝えていきます。

### TOPIC

## 『夢農園』開園しました！

当院敷地内に農園が誕生しました。患者さんと職員との「自己実現」のために、夢農園（ゆめのうえん）と名付けました。土や植物とふれあい、楽しくリハビリテーションに取り組んでいます。患者さんと職員で苗の植え付けから協力して行い、なす・枝豆・トマトなど多種多様な野菜を育てています。野菜作りという「作業」を経て人と人がつながり、野菜とともにたくさんの夢も収穫できそうです。



リハビリテーション  
センター